

JCC第6回総会

次世代クラウドサービス検討WG

第3事業年度：活動報告

～ これまでの経過と今後の活動計画について ～

2013年8月7日

特定非営利活動法人

ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム

- 1. 第2事業年度までのレビュー**
- 2. 第3事業年度の活動内容**
- 3. 今後の活動計画**

第2事業年度までのレビュー

第1事業年度の成果:次世代クラウドの定義

- 大災害に強い新しい国づくり・街づくりに役立つ高度な社会インフラサービス
- 2層構造で実現を目指す
- ① 高度防災・減災システム
- ② 情報収集・連携プラットフォーム

第2事業年度の活動:次世代クラウドの実現に向けた活動

- 高度防災・減災システムの実証案件の提案・獲得を目標として情報収集・連携PFと類似の実証事業案件に提案のためフィールドとなる自治体等へ提案
⇒ 被災地等遠隔の自治体の巻き込みは困難、案件も適切感不足
- 第7回作業部会(H24年11/21)には適切な案件を再度、探していくため総務省国際戦略局にも実証事業案件のプレゼンタとして入ってもらった
 - －情報通信政策課によるICTスマートタウンの実現に向けて
 - －平時のICT活用、非常時の災害対応(防災・減災)は次世代にマッチ
- 第8回作業部会(H24年12/21)で決まった主な活動方針
 - ⇒ ICT街づくりに向けた自治体(首都圏都市)への提案活動
 - ⇒ 上記に向けたリーダーの選定

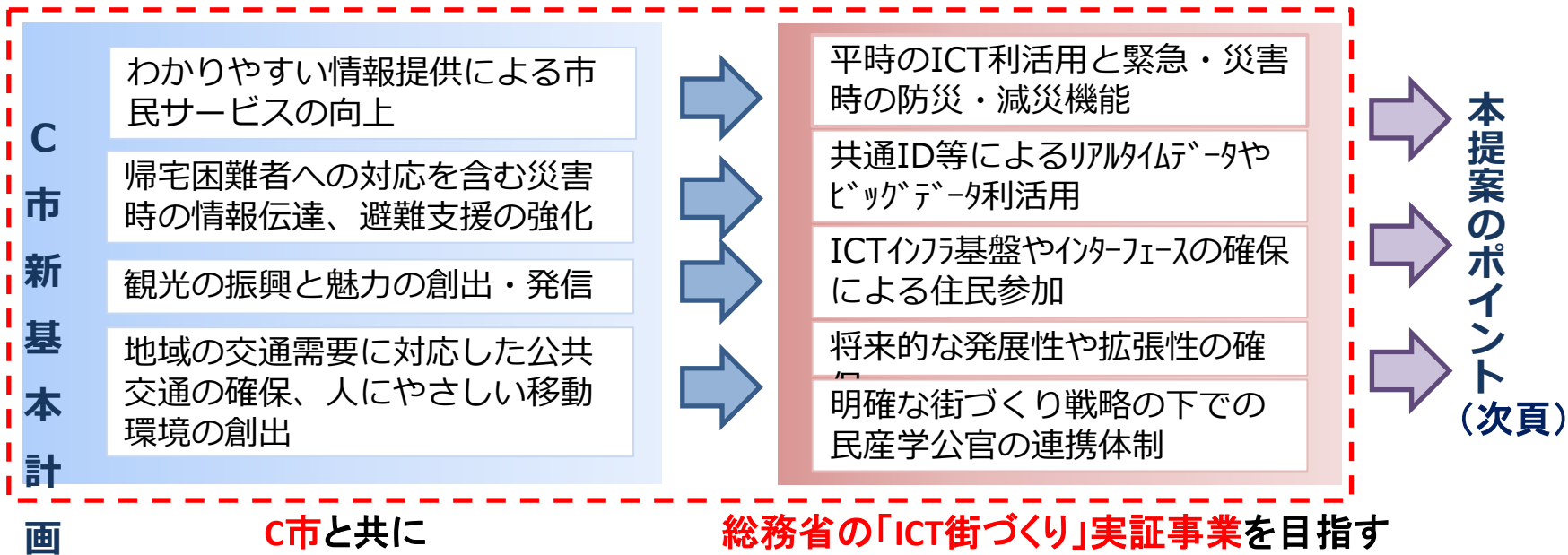
第3事業年度の活動内容・・・C市への提案

リーダー & 事務局による活動

- 1/15(火):市の情報収集のため**危機管理課訪問**
 - ⇒防災が軸でも街づくりを主導するのは難しいとの反応
 - ⇒ トップダウンでいかないと無理と判断
- 市長への提案資料作成(次ページ参照)**
- 2/25(月)**市長訪問**
 - ー 随行応対者:情報統括部
 - ー 市としてやりたいことそのものとの反応
 - ー **ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会**を立上予定
 - ー **ICT街づくり**となると、予定・計画にはなかったことなので、**受け皿(要員)**があるわけではない

(参考)C市への提案内容(抜粋)

JCC次世代クラウドWG

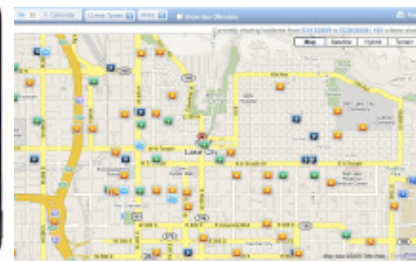


我々の目指す「わかりやすい」情報とは？



市民の誰もが見て、すぐに認識できる標識や指示表示
ICTと近代社会科学で実現

- 地理空間情報
- デザイン心理学



(参考)C市への提案内容(抜粋)

①人口と施設稼働状況の把握・分析、災害時避難行動の検討

《平常時》

人口分布と各地に存在する施設の人口を把握し、各種センサー情報を収集・分析することで、地域の「都市計画」「街づくり」ならびに「ビジネスへの展開」を図る

《災害時》

- ・市民に効率的でわかりやすい情報を伝える基盤
- ・一時滞在施設の確保、広報誘導体制の確立
- ・各避難所間の情報共有基盤

地理空間情報による
オープン・ジオ・ポータル

②児童、高齢者、外国人居住者、イベント来訪者の安心・安全

《平常時》

- ・ショッピングモールやイベント会場でのAR誘導
- ・接触式ICカードで校門、公園等児童の通過把握
- ・市立小中学校等に無線AP導入。教員のPC接続
- ・住民から不審者情報の取り込み、広報

《災害時》

- ・帰宅困難者への交通情報提供、避難誘導
- ・外国人旅行者への避難指示、誘導
- ・避難所、避難場所、備蓄倉庫として登録されている施設の連絡手段

③環境負荷軽減、集約型都市構造への転換にともなう高齢者の移動手手段確保

《平常時》

- ・高齢者の健康維持、交流のための施設を整備
- ・農村部を含めた生活圏への交通結節点を形成し、上記施設へのアクセスを整備
- ・自動車運転を卒業した高齢者が閉じこもることなく外出し、経済活動に参加することを促す、超小型EVカーや電動カートの運用。

《災害時》

- ・センサーによる充電状況や駐車時間、自動車位置等を集中管理し、異常を察知
- ・緊急時、自力で避難できるように支援
- ・避難所などでバッテリーを非常利用
- ・復旧時にはセンサー情報から道路状況などを把握

第3事業年度の活動内容・・・C市への提案

その後の状況、活動

- 3/21(木): 情報統括部訪問――3/14の公募について
 - ⇒ ICT街づくりに関しては来年度に向けての実現を目指す
 - ⇒ オープンデータ・ビッグデータ活用推進はGLOCOMにも相談
- 4/18(木): 国際大学GLOCOM訪問
- 5/21(火): 第4回M2M・ビッグデータWGの会合にも参加
- 5/31(金): C市がビッグデータ・オープンデータの活用**アイデアコンテストのアイデア募集**を発表

第3事業年度の活動内容・・・作業部会

第9回作業部会(6/5)を開催

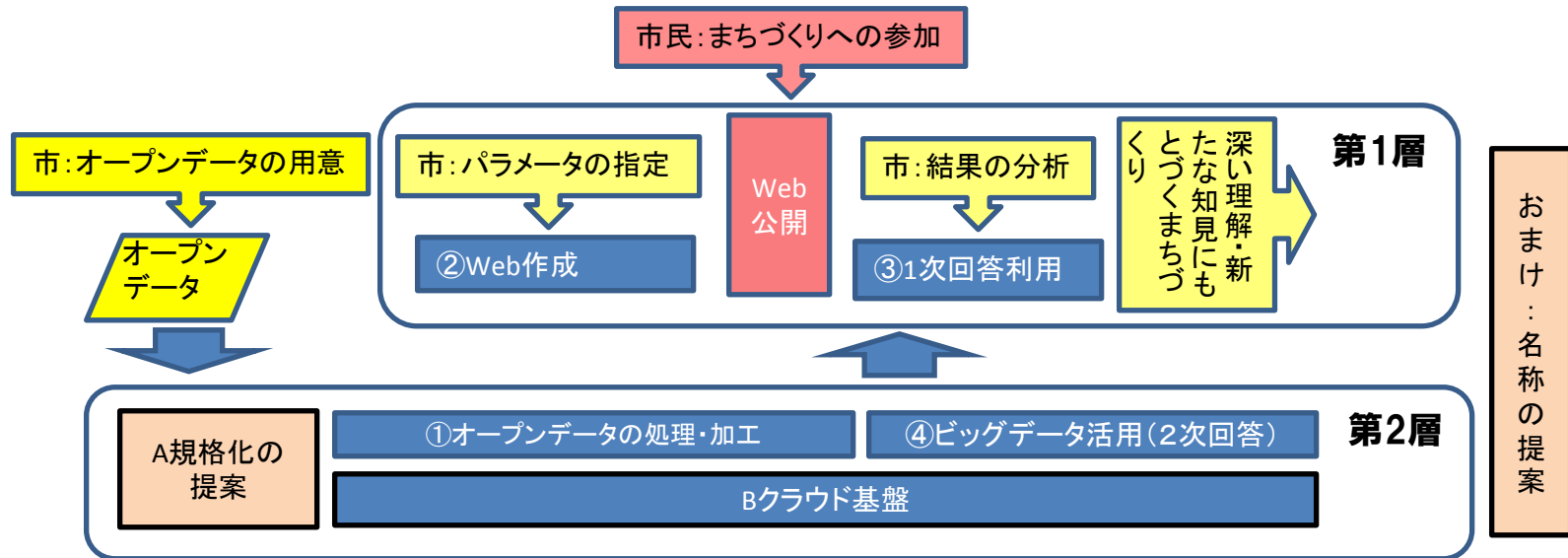
- 事務局からこれまでの**活動経緯の説明＋今後の方針確認**
 - －基本は来年H26年度に向けた提案活動を今後も実行
 - －C市の注力するオープンデータ施策の一環である「ビッグデータ・オープンデータの活用アイデアコンテスト」に提案することはC市とのリレーションを固めつつ、ICT街づくりへの参画へもつながられる有望な手段なので、本WGとして応募
- C市**アイデアコンテストへの参画に向けた提案**について
 - － JCC次世代WGとして提案するのであれば、これまで議論されてきた通り、**第1層**としての様々なAPを具体的に提案するだけでなく、**共通API**を備えることによってそれらを共通に搭載することの出来る**第2層(情報収集・連携PF)**と共に提案すべきである、という意見も出た
 - －アイデアコンテストへのJCCとしての応募の仕方だが、まず、各社に参加の意思と参加の仕方、**想定されるアイデア(案)**等をメールで出してもらい、事務局側で整理して、その後ブラッシュアップの会合を持つなどして詰めていくこととした

第3事業年度の活動内容・・・アイデアコンテスト

わがまち検定/ 郷土情報	防災・減災	雇用/教育	子育て	環境	公共サービス	出会い促進/ 街おこし
<ul style="list-style-type: none"> ● オープンデータからわがまち(市)の実態を表す「検定データベース」を自動作成(神奈川県町村情シス協同組合) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種警報、注意報発信 ● 災害ラジオのオンデマンド配信 ● 水没道路、浸水被害情報配信 ● 緊急河川水位速報(メール受取) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生向け会社説明会のオンデマンド配信 ● 市下中高生のアルゴリズム研究所(春にお題。クラス等がクラウドにWebを構築。IT/デザイン力競い、優勝チームを表彰。出来たサイトは恒久サービス化) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 登下校時間メール通知(塾とか立寄施設も同様。門通過時にスイカのようにタッチ) ● 子育て関連情報共有公共サービス(成長履歴、保育園の評判等多様情報共有) 		<ul style="list-style-type: none"> ● 公共料金ポータル(電気等料金の過去1年間利用実績閲覧サービス) ● コミュニティバスNavi(現在位置、混み具合等をスマホ、Webで) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 街コン等、出会い促進アプリ(街の特性に応じた出会い方を提供。例えば、地元が同じとかモノレールマニアとか)
<ul style="list-style-type: none"> ● 位置情報から昔の地名、由来、伝承など郷土の情報表示⇒学校で、調べたものをUpする社会科の授業を実施しデータを蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO 日本ガーディアン・エンジェルス千葉支部などの協力を得て危険個所の情報Up 			<ul style="list-style-type: none"> ● 自治体の実施している二酸化窒素や浮遊粒子状物質、放射性物質等環境大気調査、環境測定結果の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ● リアルタイムで駐車場、駐輪場の満空データ公開 ● 自分の位置情報中心に、教育施設、医療施設、避難場所、町丁別年齢人口等の情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● Fix My StreeのAPで「ちはなちゃん」PJ。花のあふれるまちづくり

第3事業年度の活動内容・・・アイデアコンテスト

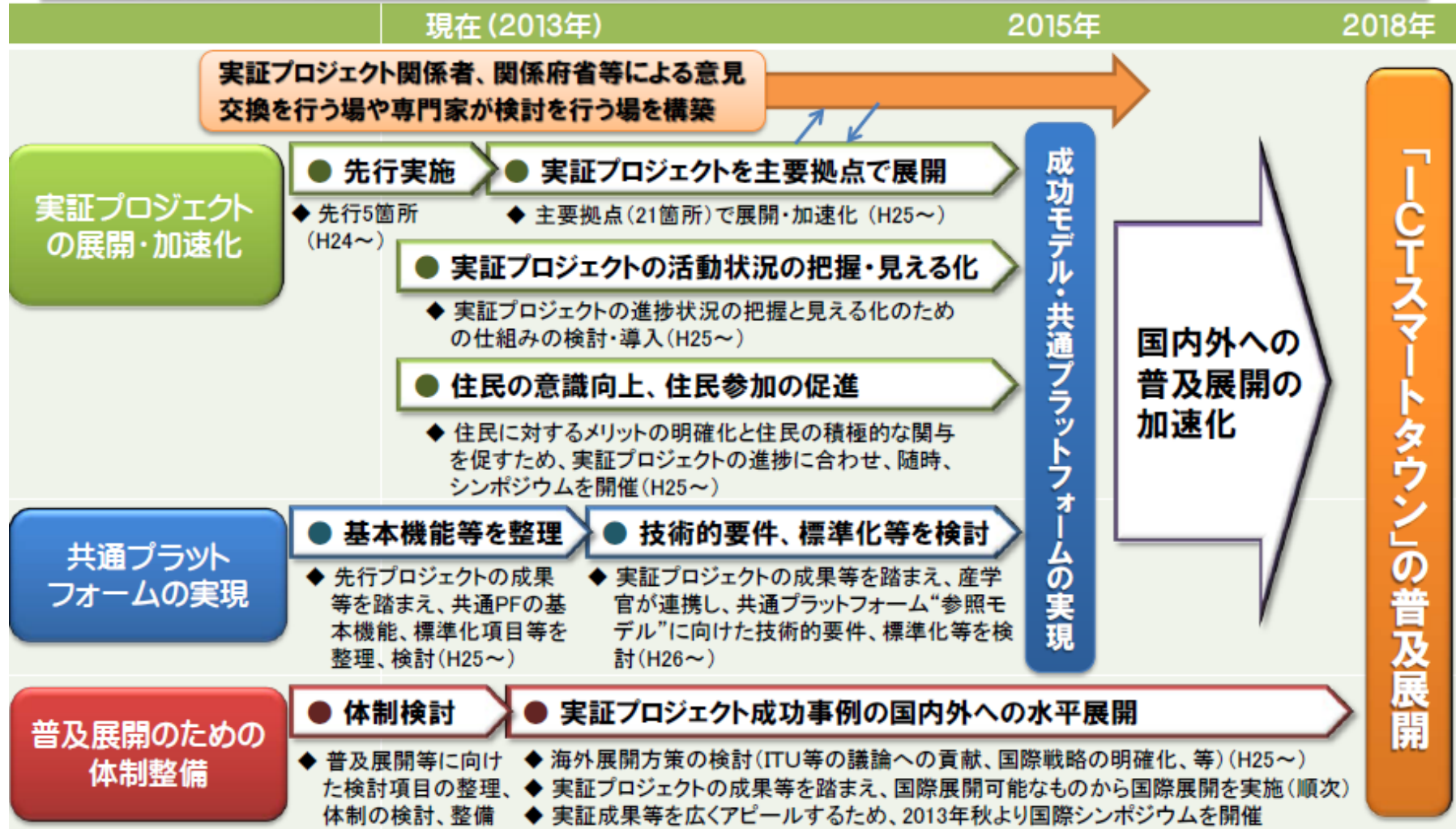
全体モデル



1. 全体モデルを提示
2. 上記①～④が提案内容
3. 実例としてオープンデータを使った「わがまち検定」を提案
4. 入力データを代えれば、他(多)分野に活用できることを紹介

今後の活動計画・・・ICT街づくり加速化への対応

- 実証プロジェクトの実施地域を全国10箇所程度から26箇所に拡大し、成功モデルに加えて、2015年までに共通プラットフォームの実現を目指すことを新たな目標として掲げ、ICTスマートタウンの普及展開を加速化。
- 普及展開の目標を2020年から2018年に前倒し、ICTスマートタウンの早期実現を目指す。



今後の活動計画・・・実証提案注力

実証に向けて

- ～8月末: アイデアコンテスト応募
- 9月～: 実証に向けた提案
 - － アイデアの実現化提案
 - － 経済性・持続性が留意点

活動のまとめ

- ホワイト・ペーパーの作成